

# 協働

第 8 号 2024 年 7 月 30 日

町田市教育委員会

指導課長 大山 聡

発行：町田市学校支援センター

## 第 2 回統括 VC ミーティング開催

第 2 回統括 VC ミーティングが 6 月 25 日（木）町田市庁舎 2 階市民おうえんルームにて、7 名の参加者で開催されました。始めに、宮島 GVC より学校支援センターの報告事項として VC 基礎研修報告、東京都地区協働推進委員会について説明がありました。東京都統括コーディネーター（地区学校協働推進委員会）に参加された山口統括 VC・黒部 GVC より次の感想が述べられました。「グループワークがあり、他地区の VC の話が聞け、よい刺激を受けました。」「町田市の取り組みが話題になったが、CS について市民に理解が深まっていないことが課題と感じられた。」「町田市が他地域より取り組みが進んでいる状況が、他地域の VC との意見交換から分かりました。」「VC の皆様の取り組みがあつての活動であることを再認識できました。」等の意見がありました



令和 6 年度地域学校協働推進フォーラムにつて、11 月 22 日（金）都庁第一本庁舎 5 階大会議室（時間は検討中）で本年度は参加型で行われるので、VC の皆様の参加についての紹介がありました。次に確認事項として、7 月 3 日（水）に行われる、中学校 VC の「ねらい」について説明がありました。新たに校長として昇任、また、他地域から町田市に転任された校長先生を対象に学校訪問を行い、CS について幅広く説明し町田市の地域協働活動の推進を図っている旨、報告がありました。7 月末から行われる、第 1 回地区ミーティングの目的・日程についての説明もありました。併せて、町田市教育プラン 24-28（資料、施策 1. 学校と地域が連携した学びを推進する、コミュニティ・スクールの推進）の説明をすると、意見として「町田市学校支援人材バンク」の構築について、現在使用している報告書を基にするのであれば、集計シートの扱い方の改善等の意見がありました。また、統括 VC を 2 グループ（第 1・2・5・6, 第 4・8・9）に分けてミーティングを実施しました。意見としては次の内容が発表されまし

た。VC が地域と仲良くなると活動を進めることができない。そのために、地域の方から心を通わせる（VC の積極的な声掛け）、子供を真ん中に置いた活動をする。スクールボードから CS に変わり、校長先生は CS の情報発信をしているが、地域のボランティア活動の方への理解が進んでいないのが課題である。

「見守り隊」の方を全校朝礼で紹介したことから、児童への理解が深まった。VC 活動を掲示板で紹介することにより、児童・保護者・地域に CS の広がりがみられた。以上のような意見が活発に出て、実りのある意見交換ができました。

## 第 1 回中学校 VC ミーティング開催

中学校全体・学校支援ボランティアコーディネーターミーティングが、7月3日（水）町田市教育センター大会議室で21名の参加で行われました。黒部 GVC の開会の挨拶から始まり、指導課管理係の連絡事項として太田担当課長より、中学2年生のキャリア教育推進事業・補助金活用について、部活動・地域未来塾・不登校支援についての説明がありました。山田主任からは、職場体験学習について今年度より市内中学校20校が、1期（9月）・2期（11月）・3期（1月）に分かれて行う予定である旨、報告がありました。学校支援センター宮島 GVC より、4月から6月までの学校支援センター事業の取り組みについて説明がありました。「学校・生徒を地域とつなげる力」（学校と社会をつなげるために）の内容で、天利 GVC から、コーディネイターとしての生徒理解（不登校を例として）について講演がありました。さらに、昨年度は報告がメインでしたが、本年度から4グループによる「グループワーク」が行われました。2つの内容で熱のこもった話し合いが行われました。1点目の「子供たちにどう育ててほしいか」については、「健全に育ててほしい」「自立した人間になってほしい」「夢が持てることや好きなことがもてる」「思いやりをもって他の人のことを考えられる」「地域で育ち地域を愛せる」「子供にとって故郷になる地域」「社会で愛される」「感謝の気持ちをもてる」等、話し合いお互い考えを深めることができました。2点目の「学校と地域が一緒にやれること」では、防災についてのご意見が多く、子供が地域の人と協力して何ができるか」「地域活動の防災訓練に子供たちを呼び込む」他に、「地域の体験活動を豊かにすることで、子供に自信をもたせ学力向上に結びつける。」VC の支援として、「PTA の活動が力になる」「小中高の連携についての紹介」等、明るく和やかな雰囲気の中にも積極的な話し合いが行われました。



## 2024年度 町田市学校支援連絡会

学校支援連絡会が7月17日(水)教育センターで開催されました。開会の挨拶では、末原久志統括指導主事が、町田市地域学校教育活動への理解と支援をいただいていることへの感謝の意を述べられ、町田市教育プラン24-28においても、児童・生徒の未来創りの大切な学びの充実につながることを願うとともに各支援団体の皆様からのご支援をいただきたいとの願いを話されました。



続いて、町田市の地域学校情動活動について、引き続き末原統括指導主事から事業説明、学校支援センターGVCからは、学校支援センターVCと協力支援団体をつなぐ・受け止める役割について、今年度7月までに実施した学校訪問・事業活動内容(町田市・東京都)の説明を行いました。そして、玉川大学、法政大学、シルバー人材センター、町田市スポーツ推進委員会(町田市レクリエーション連盟)、町田市社会福祉協議会、FC町田ゼルビア、町田市地域活動サポートオフィス、鶴川サイエンスラボ、日本漢字能力検定協会の支援団体様より、町田市内で既に各学校で取り組まれている協働活動についての紹介とともに、提案を含めた自己紹介がありました。出席はありませんでしたが、日本ユニセフ協会より出前授業等の資料の配布がありました。小学校担当校長である、本町田小学校・杉本校長よりご挨拶をいただきました。最後に太田担当係長より、それぞれの協力支援団体の皆様から、町田市の子供達のための様々な活動や今後の関わりをお聞きすることができ有意義な時間であったことと、VCの皆様には、今日の会

で得られた情報を学校で情報共有され活用していただきたいとの挨拶があり、閉会となりました。

閉会後には、各支援団体と各校のVCとの名刺交換とともに、具体的な取り組み内容とともに地区ミーティング実施についての紹介もあり、今後の活動につなげられる貴重な時間となりました。

